

令和2年度

熊本市予算編成に関する

# 政策要望書

公明党熊本市議団

令和元年12月25日

熊本市長  
大西一史 殿

## 公明党熊本市議団

団長 井本正広

### 令和2年度 熊本市予算編成に関する政策要望

#### はじめに

令和2年度 熊本市予算編成に関する公明党熊本市議団としての政策要望を取りまとめましたので、予算編成にあたっては、その趣旨をよくご理解いただき、予算編成に反映されるよう強く求めます。

令和元年度は、新熊本市民病院の開院、熊本城の特別公開第一弾の開始、熊本城ホールなど再開発ビルの開業、災害公営住宅の整備等、熊本地震からの復旧復興も着実に進んでまいりました。一方、様々な理由で生活再建が思うように進まない被災者の方もおられます。被災された方一人ひとりの復興なくして地震からの復興はあり得ません。被災された全ての方々の生活再建への支援を最優先で求めます。

公明党熊本市議団は、今回の政策要望を通して、熊本地震からの復旧・復興を最優先としながらも、将来の人口減少社会・超高齢化社会を見据え、「子育て安心社会」の実現や、高齢者や障がい者が安心して移動できる手段の確保と、市民の生命と財産を守る防災・減災対策の強化など、優先順位を見極めながら確実にそしてスピード感をもって進めていくことが、将来世代への責任を果たすことになると確信しています。

よって熊本市においては、政策要望の趣旨を理解いただき、令和2年度の予算編成に反映されることを望みます。

5項目の重点政策をキーワードに168項目について求めています。

1. 震災復興と安心安全のまち・くまもとに！
2. 女性と若者が輝くまち・くまもとに！
3. 活力ある経済と観光で賑わうまち・くまもとに！
4. 未来輝く教育と福祉のまち・くまもとに！
5. 環境豊かな水と森のまち・くまもとに！
6. その他

#### **熊本市予算編成に関する政策要望に対する行政対応についての要望**

- ① 要望について、現状と予算編成での対応結果、今後の対応について、書面をもって報告すること。
- ② 政策要望が実施となる場合には、その実施内容について会派に報告を行うこと。

以上。

# 公明党 令和2年度要望

## 1. 震災復興と安心安全のまち・くまもとに！

要望大項目	項番	要望事項
熊本地震からの復旧・復興	1	住宅再建は個々の世帯で状況が異なることから、入居期限の一年延長条件「やむを得ない理由」の対象事項の確認にあたっては、被災者の個々の事情を勘案した柔軟で丁寧な対応を求めます。
	2	「伴走型住まい確保支援事業」では、住まいの再建に支援が必要な世帯の一日も早い恒久的な住まい確保に向け、各世帯の課題やニーズ等に寄り添ったきめ細かな支援体制の強化と、更なる入居期限延長の必要性についての検証を求めます。
	3	民間賃貸住宅を恒久住宅と選択する場合の家賃については、家賃が高止まりしている状況にあり、必要とする物件の確保が困難な状況も十分想定されることから、生活が安定するまでの一定期間について、家賃の一部補助の検討を求めます。
	4	生活保護世帯の一時住まい提供が、一年延長はされたが、いまだに約30世帯が住まいの確保が出来ていない。継続して住宅確保における特段の配慮を求めます。
	5	現在近見地区で実施されている液状化対策事業については、事業後にモニタリングを行うための観測点を設置し、定期的な公開を行う事を求めます。
	6	未だ震災からのストレスを抱える児童・生徒が存在することから、スクールカウンセラーによる丁寧かつ長期的なカウンセリングの継続を求めます。
	7	復旧される熊本城での歴史体験施設の強化は勿論のこと、熊本城の特徴である石垣再建過程の公開・発信・学習機会の拡充を求めます。
	8	石垣の再建にあたっては、熊本城の文化財的価値を損なわないことは勿論のこと、より強靱な構造での再建を求めます。
	9	熊本城の瓦や石垣の裏、裏栗石への記名等による市民参画の取り組みを求めます。
	10	ジェーンズ邸や横井小楠記念館(四時軒)等、被災した本市記念館の早期の復旧を求めます。
	11	新町・古町地区等については本市の重要な文化資産と位置付け、新たな支援(歴史まちづくり事業、街並み保存支援事業)の着実な実施と、再建には専門的な知識が必要なことから、学識者や民間事業者等と連携した総合的な相談体制の整備を求めます。
震災の教訓の継承・発信	12	各種支援(事業ごとの補助率等)の継続と、半壊・一部損壊世帯へ支援金支給を盛り込んだ被災者生活再建支援制度の恒久的改正を国に求めます。

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き) 震災の教訓の継承・発信	13	液状化対策事業で培ったノウハウをまとめた上で、事業期間の短縮に繋げるための分析を行い、その結果を今後、さらには他都市での災害時に利用できるように求めます。
	14	熊本市広域防災センターについては、県下唯一の体験型防災教育施設としての整備・拡充を求めます。
熊本都市圏道路網の早期整備による安心安全の確保	15	熊本西環状道路の早期整備を求めます。
	16	国道3号線植木バイパスの早期整備を求めます。
	17	国道3号線北バイパスの全線4車線化を求めます。
	18	国道57号線熊本東バイパスの立体交差化の早期実現を求めます。
	19	中九州横断道路及び熊本天草幹線道路の早期完成を求めます。
公共交通の強化で熊本型コンパクト・シティの実現	20	熊本市住生活基本計画及び立地適正化計画の推進による安心安全な住環境の確保と各地域拠点の都市機能の充実のための整備を求めます。
	21	車中心から公共交通を軸とした人中心のまちづくりへの転換を求めます。
	22	8方面への「基幹公共交通軸」毎の「基幹公共交通機関」の明確化と整備促進を求めます。
	23	県と連携し、鉄道(JR鹿児島本線・豊肥線、熊本電鉄)の強化や新駅の設置を含む沿線の環境整備を求めます。
	24	まずは市電の新熊本市民病院までの延伸を求めます。
	25	バス事業者の統合などによる効率的で便利なバス路線網の抜本的な再編を求めます。
	26	幹線バスへの接続バスの導入を求めます。
	27	高齢者や障がい者が気軽に外出できるドアツードアのおでかけタクシーの導入を求めます。
	28	各地域拠点でのパーク&ライドやサイクル&ライドの整備と促進を求めます。
	29	外国人や障害者に対して、バス路線の再編成によるさらに分かりやすいサイン計画の推進を求めます。

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)公共交通の強化 で熊本型コンパクト・シ ティの実現	30	上熊本駅での鉄道と軌道の相互乗り入れの可能性の検討を求めます。
	31	ICTを活用した熊本版MaaSの導入を求めます。
自転車交通の支援	32	自転車専用道の整備促進と面的走行環境整備のためのピクトの活用を求めます。
	33	白川ちゃりんぽ道など風景を楽しめる自転車道の整備促進を求めます。
	34	自転車マナー向上対策として、市民への世代に応じた効果的な安全教育の展開、特に「ながらスマホ」や「イヤホンしたままでの自転車運転」等、危険運転への指導強化を求めます。
空き家対策で安心と利 活用の推進	35	改正老朽家屋等の適正管理に関する条例による着実な事業推進と審議会による、代執行を含む国の空家特措法の着実な実施を求めます。
	36	民間の団体と連携して、空家のさらなる利活用を求めます。
本庁舎、区役所の整備 と市民満足度の向上	37	庁舎建て替えについては、本庁舎と中央区役所を完全に分離した移転建て替えとし、本庁の現在の機能を最大限に区役所に移すことでコンパクトな本庁を目指すとともに、跡地については民間活力を活用する事で、本市財政への影響を最小化することを求めます。
	38	中央区役所の現在地付近での建設を求めます。
	39	市民にとって、原則全ての行政サービスを区役所でワンストップで利用できるよう、さらなる区役所機能の強化を求めます。
	40	市民がさらにわかりやすくなるよう、熊本市のホームページの改編を求めます。
	41	業務のICT化の今後の全庁的な展開を見据え、ICTの導入効果が見込める業務の洗い出しを行い、業務内容や状況に応じて働く時間や場所を選択できる柔軟な働き方を実現し、職員が今まで以上に高いパフォーマンスを発揮できるような働き方改革を進め、市民満足度、職員満足度の高い市役所の実現を求めます。
安心安全のまちづくり	42	「公共施設等総合計画・実施計画」の推進については単に総量の削減ありきとならないよう、しっかりとした検討をお願いするとともに、市民に分かりやすい説明を求めます。
	43	民間住宅の耐震化診断ならびに耐震改修への補助制度の継続を求めます。
	44	防犯カメラの設置については、自治会などの地域のニーズに対応できるよう、普及・促進を求めます。

# 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)安心安全のまちづくり	45	SDGsの普及活動により、世界的にもゴミ意識の高まりが向上している昨今、市民に一番身近なゴミ問題として更なる手厚い普及と周知の強化を求めます。また多言語対応やルールマナーの徹底など、外国人向けの取り組みも求めます。
	46	消防力向上に向けた出張所の機能強化の継続を求めます。
	47	地域コミュニティセンターの整備推進を求めます。
	48	公共施設の空きスペースのさらなる利活用を求めます。
	49	町内自治会及び校区自治協議会等への連携強化、人材育成及び財政支援の強化を求めます。
	50	消費者センター相談の拡充のための出張相談の定着および市民への周知を求めます。
	51	熊本市オンブズマンの独自調査の継続を求めます。
	52	債務者の個別の実情に応じた丁寧に取り扱った相談体制を求めます。
	53	フードバンクや子ども食堂への支援の継続・拡充を求めます。
	54	職員のメンタルヘルス問題への更なる取り組みの強化で安心の市政運営を求めます。
	55	技術職員の適正な配置と継承の強化を求めます。
56	鉛管全管取り替えの更なる推進を求めます。	
57	近年のゲリラ豪雨などの集中豪雨による都市型水害に備え、排水路、排水管の見直しを求めます。	

## 2. 女性と若者が輝くまち・くまもとに！

女性の声が反映されるシステムの構築	58	すべての人が躍動するまちを目指し、社会環境の整備、働き方の改革など、女性政策全般にわたり更なる細やかな支援拡充を求めます。
	59	女性職員の管理職への登用目標の達成と、支援策の推進を求めます。

# 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
男女共同参画の推進と共にワークライフバランスの推進	60	男女共同参画基本計画の更なる推進を求めます。
	61	基本計画の骨格となるワーク・ライフ・バランスの普及・促進を求めます。
働きながら子育てできる環境作り	62	待機児童の解消については働く女性が安心して働ける環境を整備し、500名以上いるとされる、保留児童解消に向けた対策の強化を求めます。
子ども医療費一部助成の拡充	63	子ども医療費助成制度については、多子世帯に対する更なる助成の拡充を求めます。
若者が熊本で活躍できる環境整備と政策策定	64	若者が地元熊本で活躍できる環境を整備するための熊本市独自の補助制度を含む支援政策策定を求めます。
	65	若者の定住促進に向け、市営住宅の住宅政策の策定を求めます。
	66	UIJターンの更なる推進については、現在取り組まれている「UIJターン合同就職面談会」および「UIJターンサポートデスク」のさらなる充実に加え、さらなる効果的な支援策の研究、実施を求めます。
	67	熊本に住む学生が地元で就職できるような支援策や地元中小企業とのマッチング支援の強化を求めます。
若者の創業・起業支援推進	68	若者の創業・起業支援のさらなる拡充と持続可能となるような経営指導の強化を求めます。
	69	全国的に後継者問題が急増していることから、事業承継への支援や第二創業への支援を求めます。
	70	起業後の企業を育成するため、経営指導強化のための伴走型支援事業等の段階的・継続的な新たな支援を求めます。

## 3. 活力ある経済と観光で賑わうまち・くまもとに！

歴史・文化と連動した観光振興	71	夏目漱石、宮本武蔵などの世界的有名な人物に強力にスポットを当てた文化及び観光振興策を求めます。
	72	金栗四三、嘉納治五郎、夏目漱石、小泉八雲などオリンピックと五高ゆかりの偉人を顕彰し文化都市熊本の発信を求めます。
	73	江津湖納涼花火大会においては、民間活力を取り入れた持続可能な継続を求めるとともに、各地区で実施している花火大会への支援の拡充を求めます。
	74	市役所1階にフィルムコミッションのコーナーができたことは評価しますが、もっと市民の目を引く充実したコーナーとなるよう求めます。



## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)歴史・文化と連動した観光振興	75	インバウンド政策としては、中心市街地における夜景、夜の伝統芸能、光のイベントなどの観光資源の創出とともに、熊本城周辺にある文化・歴史施設の夜間延長など、一時的でなく、『恒常的』に楽しめるナイトタイムエコノミーの推進を求めます。
	76	川尻の伝統工芸館を含め、伝統工芸の継承と振興、支援の拡充を求めます。
	77	熊本博物館における特別展示の企画や、プラネタリウムの番組内容については、子どもから大人まで、多くの来館者が訪れるような企画の検討を求めます。
	78	夏目漱石顕彰「草枕国際俳句大会」の国際部門の更なる拡充を求めます。
	79	本市の文化振興の一翼を担う「全国邦楽コンクール」の更なる充実を求めます。
スポーツの振興	80	競輪場の再建は、市民がより親しみを持てるサイクルスポーツ推進や国際的な競技(ケイリン)普及といった新たな体験型施設としての再建を求めます。
	81	老朽化した水前寺競技場の早期整備を求めます。
世界をターゲットとして 交流人口の増加	82	熊本都市緑化フェアに合わせ、中心市街地の回遊性向上策としての「しろめぐりん」の双方向運行やルート見直し、案内板の設置等、観光客誘導対策の強化を求めます。
	83	新たな「国際交流戦略」の策定にあたっては、世界各国とのチャンネル強化を目指し対策を打ち出すとともに、外国人宿泊者数については2023年の検証値を大幅に超える取組みを求めます。
	84	デジタルマーケティングの実施においては、多くの訪日外国人旅行者から本市が選ばれるようなコンテンツを制作する事を求めます。
	85	世界に開かれた活力ある都市の実現を目指し、多文化共生への取り組み強化を求めます。
	86	世界各国との連携強化を図るため、自治体国際化協会パリ事務所への職員派遣の他にも、英語圏内へ派遣するなど世界各国との更なる連携強化を求めます。
	87	ハラル対応に向けた情報発信や受入れ体制の更なる拡充を求めます。
88	交流留学生の推進や、在熊外国人への支援強化を求めます。	

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)世界をターゲットとして交流人口の増加	89	2020年に開催される、第4回アジア・太平洋サミット等に向けた、多言語案内による外国人観光客受入れ体制の構築を求めます。
	90	観光需要を喚起する電動式観光レンタサイクルの実施を求めます。
中小企業対策・特に小規模企業への支援強化	91	地元中小・小規模企業の育成の観点から、地元企業を優先した発注システムの検討を求めます。
	92	新たに改定された中小企業・小規模企業振興基本条例に基づいた対策を求めるとともに、早期の基本計画の策定を求めます。
農林水産物の販路拡大	93	農水産物や加工食品の販路拡大については、食品関連企業と連携し、国内外への販路拡大に資する有効な支援策を求めます。
	94	インターネット通販サイトの活用による本市産品の販路拡大を求めます。
	95	熊本の農水産物を利用した熊本独自の新しいブランドの創出支援を求めます。
	96	強い農林水産業構築に向けた農地の集積を求めます。
農地集積、担い手育成(新規・若手・女性)、夢活事業	97	若手農業者、女性農業者、新規就農者等の担い手育成の支援強化を求めます。
	98	夢と活力ある農業推進事業については、使い勝手のいい事業であり評価します。その上で今後も農業者の要望に沿った支援ができるようメニューの拡充や労働力確保への取組み、国がめざしているICTを活用したスマート農業の実用化への支援、および予算の拡充を求めます。
	99	農地及び土地改良施設の整備・保全については、基盤整備の推進と多面的機能支払交付金事業の更なる地域の拡大と拡充を求めます。

### 4. 未来輝く教育と福祉のまち・くまもとに！

教育環境の整備	100	本市の発展に繋がる人材の育成や、定住促進を目的とするなど、本市独自の給付型奨学金制度や、奨学金返済支援制度の導入を求めます。
	101	学校施設のバリアフリーの推進と、既存の小中学校へのエレベータ設置を求めます。
	102	私立幼稚園が行なっている特別支援教育への支援の継続を求めます。

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)教育環境の整備	103	発達障がい児の教育的支援として、市立幼稚園における特別支援教育の拡充、および、インクルーシブ教育を推進するための発達障がいのある子どもを受け入れる環境整備を求めます。
	104	教育現場のニーズに対応できるスクールソーシャルワーカーの働き方改革と人材確保の拡充を求めます。
	105	教師塾「きらり」の更なる充実を図り、塾生の増加と資質の向上を求めます。
	106	各学校が基本方針の改定を行い保護者や地域と共にいじめの根絶に向けた取り組みの強化を求めます。
	107	放課後児童育成クラブの高学年受入れの拡充と、十分な施設環境整備を求めます。
	108	Society(ソサエティ)5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求めます。
	109	新学習指導要領の全面実施に向けた英語教育の更なる充実に向けた推進を求めます。
	110	学習支援事業については、中学1年生まで拡充したことは評価いたします。その上で、学習支援への参加率が約71%であり、参加率の向上の取り組みと、被保護世帯以外の生活困窮世帯児までの対象拡大の継続を求めます。
	111	急病の受検生に対する「別日程で追検査」の実施を県と連携して行うことを求めます。
	112	夜間中学校の新たな設置を求めます。
	113	不登校対策については、在学時の早期支援、および、中学時代から本人・保護者の意向を酌んだ上で、ひきこもり支援センター等と連携するなど義務教育後も切れ目のない支援、情報の共有を求めます。
114	市立高校・総合ビジネス専門学校については、益々選ばれる学校となるように抜本的な改革を求めます。	
一人ひとりの状況に応じた生活自立支援の充実	115	生活保護世帯への就労支援については、就労支援員を配置したことにより、就労に至るケースも増えてきてはいるが、今後も、支援対象者の意向や能力等を踏まえた効果的な就労支援の強化と継続を求めます。
	116	熊本市、子ども輝き未来プランの推進に合わせ、ひとり親家庭や貧困世帯等への、実情に応じた支援事業の継続・拡充を求めます。

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)一人ひとりの状況に応じた生活自立支援の充実	117	ICTを活用したテレワークの推進については、本市職員のテレワークの活用の推進とともに、テレワーク導入を目指す企業・団体に対する導入経費等への支援を求めます。
	118	高齢者の緊急通報システムの対応については、改定された要綱に基づく丁寧な対応と、各区ごとに格差が出ないように全庁的な対応を求めます。
	119	徘徊高齢者の早期発見・保護につながるICTを活用したサービスの導入を求めます。
	120	総合相談窓口の充実と、各区展開の検討を求めます。
	121	潜在的なひきこもりの方にも支援が行き届くようひきこもり専門相談窓口、「りんく」の更なる強化と活用を求めます。
	122	養育を必要とする子供の里親制度の推進を求めます。なお推進にあたっては、里親研修や里親同士の交流の充実を図りながら、里親宅への定期的な訪問とサポートの充実を求めます。
	123	保証人がなく住宅が借りれない高齢者問題を解消するため、委託事業若しくは、財的補助を行うことを求めます。
	124	児童虐待における支援体制の強化を求めます。
	125	児童家庭支援センターの設置を求めます。
障がい者等へのきめ細やかな支援強化	126	障がい者の社会参画に大きく寄与している「おでかけパス券」については、オートチャージ機能や定期券制度を取り入れる事等による「おでかけICカード」導入に伴う課題の早期解決を求めます。
	127	現在検討されているさくらカード制度については、その趣旨を最大限に生かすために、最低でも現行制度からの後退がなされないよう強く求めます。
	128	障がい者差別解消法の周知徹底の継続を求めます。
	129	障がい者の就労意欲に十分に応えられる支援体制の、更なる整備強化の継続を求めます。
	130	特別支援学校小中学部である「あおば支援学校」の受入体制の拡充、学習環境の充実を求めます。
	131	こども発達障害支援センターにおいて、電話相談から、初回相談までの期間の更なる短縮と保健師の配置等のセンターの強化・拡充を求めます。
	132	発達支援コーディネーター制度がさらに機能していくよう、制度の強化・充実を求めます。

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)障がい者等への きめ細やかな支援強化	133	ジョブコーチの本格的な体制強化を求めます。
	134	重症心身障がい児受け入れ施設である医療型短期入所事業所の早急な拡充を求めます。(各区に1ヶ所程度)
	135	ICTを有効に活用することで、児童生徒の障害の状況に応じた支援や不登校児童生徒へのリモート授業など、支援が必要な児童に対して、各々の状況に応じた効果的な支援を求めます。
	136	ヘルプカードの周知徹底を求めます。
	137	難病患者への支援体制の充実については、難病相談支援センターとの連携を密にし、新たに設置される難病対策地域協議会の充実を求めます。
	138	地域生活支援拠点等の整備に関しては、障がい者の実情に応じた制度となるよう、また障がい者を持つ親が安心できるような、障がい者の自立につながる対策の充実を求めます。
	139	暗所視支援眼鏡を「日常生活用具給付等事業」の対象に追加することを求めます。
	140	手話言語条例の早期制定を求めます。
地域包括支援システムの構築	141	地域包括ケアシステムについては、身近なものとなるよう体制の拡充を求めます。
殺処分ゼロと命の大切 さがわかる愛護精神の 醸成	142	殺処分ゼロを目指す、動物愛護の精神の推進・啓発強化を求めます。
	143	「増やさないのも愛」との精神から、地域ねこ対策の強化や民間との協働を図り、行政による猫の不妊施術の一部助成の拡大を求めます。
	144	職員へのドッグトレーナーによる定期的な研修の継続と人員配置を求めます。
	145	犬の譲渡に際しては、大型犬等の習性や性格に応じた飼養上の指導を行い、譲渡後の定期的飼養管理の注意喚起を求めます。
医療環境の充実	146	CKD(慢性腎臓病)予防対策と生活習慣病予防のさらなる推進を求めます。
	147	がん検診と特定検診の受診率向上のためオプトアウト方式の導入を求めます。

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)医療環境の充実	148	乳がん罹患が低年齢化しているため、乳がん検診対象年齢を30歳以上とし、30～39歳までは超音波検査を主とする検診内容とすることを求めます。更に40歳以上の方についても超音波検査の併用を求めます。
	149	線虫によるがん検診の市民病院への導入を求めます。
	150	市民病院の周産期医療や女性外来の充実を求めます。
	151	1型糖尿病の方が子どもを安心して産めるための支援を求めます。
	152	胃がんの原因の一つとされるピロリ菌除去の啓発と、対策推進を求めます。
	153	ロタウイルスワクチン接種の定期接種化を求めます。
保育士確保のための支援	154	潜在保育士の就労支援の推進を求めます。
	155	保育士の業務負担の軽減につながる支援策の充実を求めます。
	156	保育士の処遇改善にむけた取組を求めます。

### 5. 環境豊かな「水と森のまち」くまもとに！

環境豊かな「水と森のまち」の保全と発信	157	第4回アジア・太平洋水サミットの本市開催に向けて、中心市街地での、熊本の水を実感できる施設整備の更なる推進等、くまもと水ブランドの世界への更なる情報発信を、開催後においても効果的な取り組みを求めます。
	158	2021年度に開催される全国都市緑化フェアに向けて、本市が管理する樹木全般を対象とした、「熊本市管理樹木再生指針」の策定を求めます。
	159	熊本市都市緑化フェアに向けて、立田山の整備と新たなイノシシ対策を求めます。
	160	水前寺江津湖公園については、市民が親しめる開放的なまちなかの憩いの水辺としての整備を行うとともに、ゆっくりと夜の水前寺江津湖公園も楽しめるよう、総合的な整備を求めます。
	161	水前寺城樹園からの江津湖までの導線の整備をし、熊本市の自然の豊かさのアピールを求めます。
	162	江津湖の素晴らしい眺望を活かした、道路やベンチ等の整備を求めます。

## 公明党 令和2年度要望

要望大項目	項番	要望事項
(続き)環境豊かな「水と森のまち」の保全と発信	163	周辺市町村での森林の保全と白川中流域での地下水涵養事業の充実を求めます。
	164	硝酸性窒素対策として家畜排せつ物処理施設・東部堆肥センターの安定的な稼働と堆肥販売の拡大と推進を求めます。
	165	畜産農家の経営安定対策と、減肥・減農に向けた強化推進を求めます。また、併せて硝酸性窒素対策として、本市のみならず近隣市町村との連携強化も求めます。
	166	「食品ロス削減推進法案」が令和元年10月1日に施行され、SDGsとしても高い目標が求められている中、市民をはじめ企業や教育機関など「民官学」での食品ロス削減への取り組みと協同・連携強化を求めます。

### 6. その他

熊本市の財政の見える化を促進	167	統一的な基準に基づく財務書類を9月議会の決算資料として提出することを求めます。
	168	熊本市の決算状況を示す市民向け資料「財政ってなあに？」において、市民にとって本市の財政状況の理解が進むように、熊本市の財政の今後の予測を含めた内容の充実を求めます。